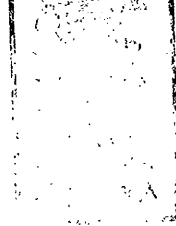


0736

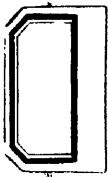


自 昭和十七年一月一日
至 昭和十七年一月一日

砲艦正生丸戦時日誌

第十三砲艦隊

去年十月各砲艦隊、指揮下ヲ離シ南支那部隊、厦門
方面特別根據地隊司令官ノ指揮下ニ入ル



目次

- 一 経過
- 二 命令達報告等
- 三 参考文献
 - (一) 諸調査事項
 - (二) 戦訓
 - (三) 寫真
- 四 作戦経過概要

一 経過

(一) 一般情勢

(一) 特務艦野島、警戒戒厳救難作業付省略)

(二) 敵軍、情勢

特務艦野島、警戒戒厳救難作業付省略

(三) 任務編制配備

(一) 燭石湾及同湾以北兄弟島迄、補給路、警戒戒敵性商

船、拿捕戒克、掃蕩

(二) 支那方面艦隊南支部隊厦門方面部隊南監視部隊

(四) 作戦指導

(五) 戦備及政策事項

發日時	一日。八。〇。 平雄丸 指揮官 一日。八。〇。 2CF 参謀長
受日(通報)時	一日。九。五 正生丸 長 一日。九。五 南支那部隊 南支那駐在武官 各艦隊参謀長 北澤部隊長 水路部長 免在勤武官 各領事参謀長 上海在勤武官
令達報告等	一六。豫定地点着、豫定 爾今左依り香港出入港ヲ許可セラル 一特ニ必要アル場合ノ外晝間ノミトシ夜間ハ 禁止ス (一)通航水道 (二)大欽門水道防材ノ中央ニ。米ヲ格 間シアリ (三)南丁東水道阿洲附近 (四)及南丁東北端附近白旗附近白浮標以西 = 近接セザルヲ要シ本水道ヲ主用スルモ、 (一)急水門水道馬鞍島青衣島間ノ水道 ヲ通航スルヲ要ス
種類	無電 無電

一日一三四。
20F 參謀長 南支部隊

一日二〇〇。
一三三 掃 艦長

一日三一〇。
20F 夏根司令官 參謀

- (一) 各水道共三掃海有効深度一〇米
- (二) 南丁西水道、通航禁止ス
- (三) 香港東不港内ハ沈船多ク注意ヲ要ス

南支部隊既屬中ノ艦艇、復掃豫定
左ノ通り

一梅正生丸東照丸三遣支水偵上陸隊遣隊
特掃准士官一。下士官兵一。一月上旬

二宇治飛渡瀬年婁丸三月上旬

三第十一水雷隊CF 附屬艦攻笠島當分
ノ間殘留

野島ノ狀況左ノ如シ

一祐捷丸不音ノ結果野島ノ海上作業
ハ可能ノ見込

無電

無電

二日一三〇〇
北支隊隊長

二日一三〇〇
一三三三號
砲艦長

二日一八二四
南支隊隊長
南支隊駐在武官

二日二二二〇
夏振司令官
北支隊隊長

各艦隊隊長
北支隊隊長
水路部長
台在勤武官
各鎮各要
參謀長
上海在勤武官

三協成丸八二日〇〇〇廈門ニ向ハシム

三一五三〇軍艦丸末着三日廈門ニ向ハシム

爾今左ニ依リ香港出入港ヲ許可セラル

一特ニ必要アル場合ノ外晝間ノミトシ夜間ハ之ヲ禁止ス

二通航水道

一八欽門水道防材ノ中央ニ〇米ヲ啓開シテ

一四南丁東水道同洲附近及南丁島北端

附近白旗附白浮標以西ニ近接セル要ス

本水道ヲ主用スルモノトス

一野島ノ現状悪化ノ傾向ナシ

一祐捷丸救難作業ノ順調ニ進捗シツアリ

一浚漂具(アリストマンバケット)高雄ヨリ明朝

無電

無電

二日二一〇
2CF 参謀長

音〇〇一五
CSF 参謀長
正生丸艦長
笠島指揮官
野島艦長
東照丸艦長
香根司令官
非参謀長
復根司令官
南支那部隊
部隊指揮官
榎 艦長

到着次第一三番艦、荷役開始、豫定
一海没石炭八目下放棄スル外方法ナシ
一長白山丸八明日五員ヲ收容シテ馬公商団
一當地在泊船野島長白山丸祐捷丸笠島
平雄丸

支那方面艦隊機密第六四三番電ニ依
ル第一次兵力引揚ハ在、通、致、度腹案
ナリ
一梅及東照丸一リ九日正生丸、野島、
難作業終了次第上海、向ケ香港登
三第三遣支艦隊附屬水偵察機八百七
噸香港登上海經由青島ニ空ヲ輸送
三上海特別陸戦隊派遣及水偵察機

無電

	二日 二一三〇 一三三 佛 砲艦 長
	二日 二二三五 厦根司令官
三右情況下野島並ニ救難船警備ニ砲艦一隻ノ兵力以上必要アルモト認ムセリ	二根司令官 是地島ノ形未照死運送ルニ上海迄輸送ス以後ノ輸送ニ関シテハ支那方面艦隊ニテ計畫アリ度ニ 本艦ヲ偵察スルニ紅沙灣ノ敵情左如シ無電 一仙尾ヲ砲撃スルニ海岸線一帯ニ中央 陣地ヲ構築シ機銃ニ基及小銃多數ヲ有スルモ知ク數百名ヨリナル一團ノ兵力ヲ移動シ居ルヲ認メタル事アリ 二仙尾澳ニ多數大型戎克碇泊シ居ルモ本艦在泊以系海上ノ交通ハ殆ド杜絶セリ
	無電

三日。九二。
上根參謀長

三日。九二。
上海方面部隊
參謀長

三日。四一五

上海方面部隊
第三警戒隊

指揮官

第八警戒隊

指揮官

正生丸艦長

多々良艦長

梅艦長

參謀長

三日。一一三

上海方面部隊
參謀長

正生丸艦長

上海方面部隊
警

六

一、梅及第一三三號砲艦(東照丸)八一月

九日第三三號砲艦(正生丸)八野島

救難作業終了次第香港発上海

帰投補給修理、上原隊(梅八警)

復帰(配属)セシメラルル豫定

二、多々良八月中旬砲銃改装完了次第

第三警戒隊ニ配属セシメラルル豫定

第一三三號砲艦(正生丸)野島救難

作業日時終了見込知ラレ度

無電

無電

三日一三三。
協成丸指揮官

三日二一〇。
一三三三
院 艦長

三日一三一四
正生丸艦長

野島艦長
笠島艦長
四日〇八四五
履根司令官
蘇

二一〇。廈門着豫定

無電

無電

一本日西東の所より大アリシタメ野島ノ艦
梢沈下シ高潮時瀧身ヲ没スルニ至レリ
一長白山先々不真ノ所乗シ。丸。登馬公ニ
向ヘリ

一平確丸セズト及砂利ノ野島ノツリム
ノ都合上本艦ニ轉載セリ

一海上平静ニシテ清水シツト出系次第
幸雄丸ハ帰投セシムル豫定

一海没石炭ノ荷役ニ或克ヲ使用シ極力
更生ニ努メ度キ意向アリ

南支那部隊
指揮官

南支那部隊
哨戒部隊
南支那部隊

許可相成度就而、其ノ費用トシテ差
當リ支那金一千円協成凡 控送
御送附願度

南支那部隊司令第四八號

爾今哨戒部隊第十一水雷隊鵲轉ヲ

以テ左ノ要領ニ依リ警戒セヨ

梅東照丸ノ台動ニ用ニテハ特令

一、一隻ヲ以テ搭折馬尾州方面通航ノ船

舶或ハ特令ノ船團ノ護衛ニ任ズ

護衛スルニ通航ノ船舶ナキ場合ハ搭折

馬尾州方面ニテリテ警戒ス

情報ニ依リ二隻以上ヲ以テ船團ノ護衛ニ

任セシムル場合アリ

無電

2520

上海方面部隊指揮官

四日一七〇

四日一二四
復根参謀

四日一三三
復根参謀

東照丸艦長

四日一五一

四日一三五
野島指揮官
野島艦長
正生丸艦長
廣東方面部隊

四日一三五
正生丸艦長
野島指揮官
野島艦長

二前項以外、破八香港ニ於テ待機但シ内一更
八一三節三。分待機トス

一清水補給船為協成丸ヲ日
セラル。謀定

二貴地ニ泊艦ニ對ス清水ノ補給ハ當分、間野
島ニ對スルモノハ協成丸(平雄丸)ニ行フ

正生丸五島ニ交五汕頭ニ於テ自艦ニ補
給ノフトニセラレ度

野島救難地ニ泊艦船ニ對スル清水補給ハ
毎日約ニ五トヲ要シ自下厦門ヨリ輸送
セルモ距離ノ關係上、香港ヨリ運搬セシメ
度希望ナリ香港ニ於ケル給水設備、
狀況知ラレ度

上海方面部隊電令一六五號

無電

無電

無電

四日一八・
一三三號
砲艦長

四日一九・五
厦門司令官
野參謀

梅 艦長
上方隊砲艦隊
二方面部隊
(二五三作)
(上方隊各艦長)
(野參謀長)

上海方面部隊兵力部署中左ノ通リ変更ス
 第一三三號砲艦(正生丸)ヲ第六艦隊ニ梅及
 第一四三號砲艦(東照丸)ヲ第八艦隊ニ加フ
 右各艦(成ベク速ニ)第一三三號砲艦ノ野島救
 難作業終了後上海ニ帰投補給修理ノ上
 當該警戒隊指揮官ノ定ル配備ニ就ケ
 行動ヲ豫定シ報告スベシ

一野島ノ狀況昨日ヨリ悪化セス
 一軍艦凡ハ荷役完了後一六〇。厦門ニ向テ
 尚同船ノ清水ハ塩分ヲ含ミ至水飲料水
 トシテハ使用ニ堪テ加ル灣内常ニ長崎
 アリ同船ノ自力横付給水ハ危険ニ付
 軍艦凡ハ廻航ハ當分間中止ノ事願度
 一笠島ノ今後ノ行動ニ付通報ヲ得度
 一救難作業ハ順調ニ進歩シツパリ

無電

<p>四月十八日 南支部隊 指揮官</p>	<p>五月二日 2CF 參謀</p>	<p>五月一日 一三三 艦長</p>
<p>四月二十二日 南支部隊 艦長 艦長 艦長 艦長 艦長 艦長 艦長 艦長</p>	<p>五月九日 原根參謀 原根參謀 原根參謀</p>	<p>五月二日 須藤司令官 須藤參謀</p>
<p>南支部隊電令第八六號 南支部隊兵力部署中主隊より梅東照丸 及三遣支艦隊より上陸隊遣隊ヲ除ク 右艦船部隊ハ第一遣支艦隊機密第一七番 番電ニ基キテ原隊ニ復歸スベシ 但シ上海特別區隊隊員遣隊ニ半數及水 須基地員ハ梅東上陸隊遣隊ノ殘部ハ 東照丸ヨリ輸送スベシ 貴機密第一四七番電送 香港ニ於テ清水ハ細菌多キモ煮沸スルハ飲 料水トシテ使用得搭載能力現在ノ欠時 間約一五七ナリ 野島ノ現狀亦ト變化ナク作業順調ニ 進捗シツナリ</p>		
<p>無電</p>	<p>無電</p>	<p>無電</p>

<p>六月二二二〇 一三三三 砲艦長</p>	<p>六月二八〇〇 南支部隊 指揮官</p>	<p>六月二八三〇 復振參謀</p>
<p>六月三三三〇 復振司令官 副參謀</p>	<p>六月三〇五 南支部隊 南支武官 又左利任武官 海軍大臣 陸軍大臣 陸軍大臣 陸軍大臣</p>	<p>六月三〇一 正生丸艦長 汕頭派遺隊 指揮官 野島艦長</p>
<p>協成丸行動豫定左ノ通り 一月六日八〇〇復門登七日八〇〇汕頭着八日 朝汕尾着 汕頭近准士官一名其他二名汕頭ヨリ笠島 兵員二便乗 南支部隊現令第八號 南支部隊兵方部署中 東園丸ヲ附属ヨリ除キ香港方面部隊 ニ加フ 一笠島一ニ清水補給ノタメ汕頭へ廻航セ云 ニ協成丸ノ救難作業ノ順調ニ進歩シテアリ 本日より海没石炭ノ荷役ニ着手ス</p>		
<p>無電</p>	<p>無電</p>	<p>無電</p>

七月一ニ〇〇
2F 参謀長

七月二ニ〇〇
一三三 船長

七月一三〇七
夏服司令官
立三九 艦長

八〇五四五
夏服司令官

野島救難作業計画進捗程度ノ概要
及見込通知ノ程度由當隊ヨリ援助ヲ
要スル程度等ニ同時報告スルノ度

一野島ノ現狀

第一番砲ハ高潮ニ全没シ概テ水ニ米八
傾斜前後八度左ニ度艦ノ中央ヨリ概方
約三米迄觸底石炭庫ノ浸水毎時八升

二計畫

第一番砲ノ被害大ナルヲ該所ハ假修理
不能石炭庫隔壁ノ補強遮防ヲ先急ニ
長期高压ニ堪エシム如ク工作ス
一番艦格載石炭六五噸ノ内四噸ヲ船
卸ニナル後同第一番砲ヨリ艦方全區劃ヲ
密閉排水浮上セシム浮上後ハ極力各艦
積荷ヲ船卸スルト同時ニ一番艦隔壁ノ

無電

無電

補強返防ヲ要スバ外銀及甲板補強ス
 堪航カヲ復元シ最短地香港ニ廻航ス馬公
 へ廻航ハ再廻航トナリ基隆へ廻航ニ堪航
 性具備ノタニ浮上後尚一ヶ月ヲ要スベシ
 三作業進捗ノ程度及見込
 拾個ノ錨ニ依ル繫止作業石炭庫隔壁
 ノ補強漏水箇所ノ遮防船首樓區劃
 ノ密閉第一番艙ノ荷役準備等ハ既ニ
 完了シ正室ノ浸水ハ自力及祐捷丸独
 唧筒ニ排水中尚本日並ニ安丸復ニテ
 高雄ヨリ浚渫用バケツ及板材到着シ
 漸ク救難用船艙資材ハ整備スニ至リ
 四八日ヨリ本格的ニ海没石炭ノ船卸作業ニ
 着手シ十日間ニ揚切ル見込密閉排水
 浮上ニ五日間ヲ要シ一番艙隔壁ノ補強

<p>八月〇七〇〇 一三三三 碗 艦長</p>	<p>八月一三〇〇 又F 參謀長</p>	<p>八月一八三〇 一三三三 碗 艦長</p>
<p>八月〇九二〇 夏根 參謀</p>	<p>八月一五一八 正生丸 艦長 夏根司令官 野島 艦長 香根司令官 (南支那部隊 各指揮官 所在艦所)</p>	<p>八月二〇一五 夏根司令官 又F 參謀</p>
<p>並石炭積更尚一週間ヲ要ス見込即 一日末頃作業終了見込 五日下働成丸、青水補給、他必要ナシ 。五五五協成丸仙尾頭着</p>	<p>五十鈴一日〇八三。香港発 一五三。野島 鎮地着 (長官救難狀況視察) 一七〇。発 一日一三。厦門着 一二日一六。厦門発 一三日一六。香港着、豫定</p>	<p>本日ヨリ本格的ニ荷役ニ着手ス 後謀具、都合ニ依リ成克ニ積取不能海 中ニ放棄中</p>
<p>無電</p>	<p>無電</p>	<p>無電</p>

<p>八日 二〇〇〇 一三三 辨 砲艦 長</p>	<p>八日 二〇一 夏根司令官 汕頭派遣隊 指揮官</p>	<p>協成丸ノ清水ノ塩分多ク飲料水在ホトニ 使用不能ニ付キ一八〇。清水積取。多汕頭ニ 派遣セリ</p>	<p>無電</p>
<p>九日 二〇〇〇 一三三 辨 砲艦 長</p>	<p>九日 二〇四 笠島指揮官 夏根参謀</p>	<p>一〇日 一五三。長官野島ヲ視察ナルニ付一三〇。 迄ニ作業地へ帰投サレ度</p> <p>天候静穏ナルヲ野島ノ石炭荷役ハ順調 ニ進歩ニツキアリ(一日平均約八〇噸)船体 其他現状ヨリ悪化セザル見込</p>	<p>無電</p>
<p>一〇日 一九三〇 一三三 辨 砲艦 長</p>	<p>一二日 四五八 夏根司令官 夏参謀</p>	<p>浮上後補強材料「ヤシ」本一ニ吋長サ三〇。 呎ノモノ一八本「鉄板」厚サ五分巾五尺長サ一〇尺 モノ一。枚及厚サ四分巾五尺長サ一〇尺モノ一。枚 「ソング」四吋ヲ長サ三〇尺モノ一。本「ワッシャー」 一吋一分ノモノ一五。枚及一吋ノモノ一五。枚及 七分ノモノ三。枚「カッター」附「ホルト」一吋ヲ首下</p>	<p>無電</p>

一〇日ニニ〇〇
南支部隊
指揮官

二日〇九一〇
厦門ニカ面
部隊指揮官

一〇日一九三〇
一三三三號
沈艦長

二日〇六一七
厦門司令官

五時三十分切... 個及七分首下
 五時三十分切... 個及六分首下二時半
 六時一十分切... 個ヨリプレッサー用ドリル
 六時三十分切... 同七分モノ四本六分ノモノ三本
 補強工事ニ要スル鉄工員百名派遣方願度
 「アングル」ヤンネルハ三〇尺ヨリ大ナルヲ要ス
 石炭荷役ハ順調ニ進歩シ明日ニ揚切ル
 豫定九日替水夫ノ被害面調査結果ニ
 番艦西舷外鉄並ニ上甲板ニ亀裂新ニ生シ
 居ルヲ発見セリ
 一七〇〇長官視察セラル
 一三五五笠島帰航
 本艦隊密第四番電六群參謀ニ報清香港
 ニストック品アル由
 南支部隊電令第九ニ辨
 野島ノ護送先ヲ香港ニ改ム

無電

無電

<p>二日一五三〇 CF 参謀長</p>	
<p>二日一七三〇 南支部隊 指揮官</p>	<p>二日一七〇八 厩根司令官 上根司令官 CF 参謀長 江祥丸艦長 正生丸艦長 野島艦長 香港方面部隊 指揮官 三艦隊長官 灰鎮 長官 司令官總長 海軍次官 艦隊本部長</p>
<p>正生丸八二七日頃作業地着、江祥丸ニ野島 救難任務ヲ引継ガバ南支部隊ヨリ除カ ル豫定</p> <p>南支部隊電令第九三號</p> <p>香港方面部隊指揮官ハ飛渡ノ瀬ヲ正 生丸機密第四番電補給材料ヲ準備 搭載、上急海灣ニ派遣野島救難作業</p>	
<p>無電</p>	<p>無電</p>

<p>一三日二二〇〇 一三三三排 砲艦長</p>	<p>二日二二〇〇 一三三三排 砲艦長</p>
<p>一三日二二〇五 原根司令官 野参謀</p>	<p>二日二二〇六 原根司令官 野参謀</p> <p>聯合艦隊参謀長 野島艦長 佐藤参謀長 馬場参謀長</p>
<p>砲列各部拡大、傾向アリ前後左右の動搖ニ 不調子ヲ感スルニ至レリ 目下一番艦密閉作業、順調ニ進捗シツ、ナルモ 早期排水ノ多強行作業中 一五。清水セ。頓給水、上協成丸ヲ汕頭ニ 向ハシム 一六日〇五。昂投ノ豫定</p>	<p>協力ハシム 〇五。協成丸昂投ス 二〇。荷役終了(計三〇噸)放棄明日ヨリ 一番艦ノ密閉ニ着手ノ豫定 二番艦ノ砲列部ハ拡大、傾向アリ</p>
<p>無電</p>	<p>無電</p>

<p>一三三三三〇 一三三三三〇 砲艦長</p>	<p>一四日〇九三〇 厦方指揮官</p>
<p>一三二二二〇 厦飛司令官 作參謀</p>	<p>一四日一〇二二 厦門方面部隊指揮官 作參謀長</p>
<p>一 亀裂部隊変化シ切断、危険ニ瀕スルモ 目下静穏ナル為全力ニテ一審艦密閉 作業取急中 二 天候悪化セザル限リ持コタエル見込 三 江祥丸未着引継ニ際シ関係書類ノ 処理ニ付指示ヲ乞フ</p>	<p>厦門方面部隊電令第一八號 一月十五日ヨリ兵力部署左ノ通り改ム 一 監視部隊(南業合ス)ヲ江祥丸福大丸第一 福徳丸トシ指揮官ヲ江祥丸砲艦長トス 二 汕頭湊遣隊ヨリ第一福徳丸ヲ除ク 南澳島湊遣隊第十五南進丸ヲ除キ 名振丸ヲ加フ</p>
<p>無電</p>	<p>無電</p>

一四日二〇〇
厦根参謀

一四日一四〇
香港方面
部隊指揮官

一四日一六〇
飛渡・瀬
指揮官

一四二一〇七
一三三掃砲艦長
(又参謀)

一四一九〇
飛渡・瀬
指揮官

正生丸艦長
(又参謀長)

野島艦長

厦根司令官
副参謀長

一四日二〇〇
正生丸艦長
野島艦長

三鼓浪嶼派遣隊ヲ鼓浪嶼分遣隊ト

改メ直卒トス

貴機密第四五番電送

第一遣支艦隊ヨリ受ケタル作戰關係

ノモノ其ノ指示ニ依リテ処理其他ノモノ及

當隊關係ノモノハ其ノ俟現地ニテ江祥丸ニ

引継ガシ度

香港方面部隊電令第八號

飛渡・瀬ハ速カニ紅海灣ニ回航野島救

難作業ニ協力スベシ

紅海灣ニ向ケ大吉發一六〇〇

無電

無電

無電

<p>一五日一九〇〇 廈門警備隊司令 南支部隊指揮官</p>	<p>一四日一九三〇 一三三號艦長 砲艦長</p>
<p>一五日二二〇〇 南支部隊 南支駐在武官 馬警司令官 海軍次官 軍令部次長 上根司令官 海軍警備官 長官</p>	<p>一五日二二五五 海參謀 一三三號艦長 香根參謀 第一海軍工作部 部長 一四日二一〇〇 廈門司令官 海參謀</p>
<p>南支部隊電令第九七號 南支部隊兵力部署中 廈門方面特別根據地隊ヲ廈門警備隊ニ廈門方面部隊指揮官ヲ廈門警備隊司令官ニ改ム</p>	<p>一海上軍艦タルタメ密閉作業ハ順調ニ進捗終了ス 六明日午潮ヲ利シテ排水ヲ試ム豫定</p>
<p>無電</p>	<p>無電</p>

<p>一六日 一三三〇 一三三三 掃 砲艦長</p>	
<p>一六日 二〇二四 厦警司令 20F 参謀</p>	<p>10F 長官 30F 長官</p>
<p>一五日下午後及午前、俄瑞時ニ野島ノ排水浮上ヲ試シ、之ニ失敗。漏シタリ 六ニ各艦各上中甲板及外板ノ亀裂部ハ殆下艦底迄擴大シ上甲板間隙ハ六。五及七且捻上局ニ見立アリニ、爾今前後部同時浮上ノ身立、後部ノ浮上シ前部ハ放棄スル外ニセト認ム 三右作業ニ今後尚三月ヲ要スル見込 四〇五〇。協成丸掃取スル危リ野島ノ石炭ヲ積取ツム 一野島ハ八三五被雷箇所ニ西断シ後半部浮上 二人命其他異狀ナシ</p>	
<p>無電</p>	<p>無電</p>

<p>一七廿一〇〇〇 廈門方面部隊 指揮官</p>	<p>一六日二三三〇 厦警司令</p> <p>一六日二三三〇 野參謀長</p>
<p>一七日一〇三〇 江祥丸 艦長 (野參謀長) (野參謀)</p>	<p>一六日三四三 正生丸艦長 (野島艦長) (野參謀長) 一六日〇九一四 厦警司令 正生丸艦長 (香港特派司令官) (聯合艦隊參謀) 三艦隊參謀長 江祥丸艦長 野島指揮官 野島艦長 (飛渡艇) (指揮官)</p>
<p>廈門方面部隊電令第一九號 一野島へ應急對策ヲ實施ノ上速ニ香港ニ曳航セントス 二貴官ハ正生丸艦長ヨリ任務ヲ繼承空島</p>	<p>一浮揚後曳航ニ堪ハル程度ノ應急修理ノ見込アルヤ知ラセ 二江祥丸ハ一七日午前現場着ノ豫定 野島ハ應急對策ヲ實施ノ上成ルベク速ニ香港ニ曳航セシメラレ度</p>
<p>無電</p>	<p>無電</p>

<p>二七日一八四。 CXF 長官</p>	<p>一七日一八〇。 一三三號 艦長</p>	<p>一七日一三三。 一三三號 艦長</p>	<p>野島艦長 協成丸船長 飛渡瀨 指揮官</p>
<p>二七日一三四。 南支部隊 隊長官 上根司令官 大臣總長</p>	<p>二七日一三六。 CXF 參謀長 厦警司令</p>	<p>一七日一四一八 厦警司令 CXF 參謀</p>	<p>野島艦長 協成丸船長 飛渡瀨 指揮官</p>
<p>南支部隊電令第九九號 南支部隊兵方部署中厦門方面 部隊員正生丸ヲ除ク</p>	<p>一七日江祥丸艦長ニ任務引継先イセリ 二明日米麦糶ニ救済資材ヲ野島ニ移載 シ本艦燃料炭搭載、上九日三〇。厦門 着、豫定</p>	<p>一江祥丸〇八〇。着引継ヲ始ム 二野島ノ廻航準備六ニ週間ヲ要スル見込</p>	<p>協成丸ヲ指揮シ所在各指揮官ト協議速カニ 曳航ニ必要ナル應急心修理並ニ曳航計畫ヲ 樹テ今後ノ見込ヲ報告スベシ 右作業ニ對シ援助ヲ要スベキ事項アラバ 速カニ要求スベシ</p>
<p>無電</p>	<p>無電</p>	<p>無電</p>	<p>無電</p>

<p>一九日一三三〇 一三三三號 砲艦長</p>	<p>一九日一四三六 厦警司令</p>	<p>六二日一〇〇〇 厦門着ノ豫定 六二日〇八〇ヨリニ錦塊炭三噸清水〇 噸搭載致度御手配ヲ乞フ</p>	<p>無電</p>
<p>二〇日〇八〇〇 江洋丸艦長</p>	<p>二四日一〇二〇 厦警司令 總艦長 野島艦長</p>	<p>〇八〇 香港発一七三〇 江海湾着ノ豫定</p>	<p>無電</p>
<p>二四日一四〇〇 一三三三號 砲艦長</p>	<p>二四日三三 野司令 二根務部長 厦警司令 野務課</p>	<p>一三〇〇 厦門発二八日一三〇〇 上海着ノ豫定</p>	<p>無電</p>
<p>二四日一八〇〇 江洋丸 艦長</p>	<p>二四日二〇二五 厦警司令</p>	<p>一八三〇 江海湾着</p>	<p>無電</p>

<p>二六日一一〇〇 一三三號 東照丸艦長</p>	<p>二六日二四一 一四三號 正生丸艦長</p>	<p>履警北送貴艦用譯票及重要書類アリ 本艦二八日一二〇〇上海着ノ豫定付、受渡ノ 日時場所通知ヲ得度 貴機密第五六番電返 本艦末月初自返上海(江南)在泊ノ豫定</p>	<p>無電</p>
<p>二七日一五〇〇 六號指揮官</p>	<p>二七日一六一一 上根參謀 八號指揮官</p>	<p>第三遣支艦隊機密第九五番電ニ依ル 船團航路末出是テ二六日一三時ヲ卒工 バレン島東方ニ行動捕捉ノ豫定</p>	<p>無電</p>
<p>二七日一六九〇 上海方面根據 地隊參謀長</p>	<p>二七日一八一〇 六號指揮官 GF長</p>	<p>三遣支艦隊機密第九五番電ノ 船團護衛ノ為上海發一三〇〇</p>	<p>無電</p>

<p>二八日 一三〇〇 上根 參謀長</p>	<p>二八日 一八二〇 六 警 指 揮 官 一 警 指 揮 官 七 警 指 揮 官 八 警 指 揮 官 (二七八 警)</p>	<p>船團八月二十六日〇九〇〇青島発 當隊機密第八三七番電、通り南下ノ旨 内外地間(内地滿鮮)物資輸送ニ利用 為多數、我克ヲ要望セラル、所各 担任區域ニ於テ拿捕可能(抑留ヲ急ム) 式吉九ノ型(概略屯敷)及莫教至急 通知ヲ得度</p>	<p>無電</p>
<p>二八日 一五〇〇 一三三三 掃 上根 艦長</p>	<p>二八日 一八二〇 上根 參謀長 六 警 指 揮 官 八 警 指 揮 官 司令 (二七八 警)</p>	<p>一三三三〇 上海 着</p>	<p>無電</p>

1940

三	二	一	日
瑪	海	紅	所在
晴 業七 一五。 一四。	晴 業二 一五五 一七	晴 業九 一五。 二。	氣象 <small>天候 風速 雲量</small>
晴 業二 一七。 一。	晴 業三 一九三 九	晴 業六 二。 一四	一級任務
二C作戰部隊 廈門方面部隊 南門部隊 三場方面部隊 灣以業兄弟 嶼五九沿岸 補給路警備 敵商船拿捕 戒免海揚			二C作戰部隊 廈門方面部隊 南門部隊 三場方面部隊 灣以業兄弟 嶼五九沿岸 補給路警備 敵商船拿捕 戒免海揚
特種任務 竹添艦隊 警戒救難 救難隊			特種任務 竹添艦隊 警戒救難 救難隊
經過摘要 九。○長白山丸岩港 野島ヨリ野島へ應 急材量ヲ本艦ニ積載ス 五。○袋 砂利三。○袋			經過摘要 九。○長白山丸岩港 野島ヨリ野島へ應 急材量ヲ本艦ニ積載ス 五。○袋 砂利三。○袋
記事			記事

作戰經過概要
 昭和十七年一月
 龍艦正生丸

七	六	五	四
灣		海	紅
墨 墨 東七 東七 一八九 一八九 一六 一六	墨 墨 東四 東三 一五五 一八〇 一七 一〇	晴 晴 北東三 東一五 二六二 一九〇 一九 一四	四雲 半晴 北東一 南東四 一六一 一九五 一六 一四

一〇八〇 北安丸入港 野島救難用板材積入 救難用板材積入 一三〇〇 岩港入 野島警 戒並救難作業に従事	一三〇〇 桶給、野島 ヲ汕頭・同、岩港セ云 式元四隻柳留野島 一五番船ヨリ揚ゲシ石炭 運搬ニ役用野島警 戒並救難作業に従事	津防注射 野島、警戒 救難作業に従事	一〇〇〇 手繰丸ヲ應急用 内材ヲ本港ニ転載同 清水補給ヲ行フ 一六〇〇 年唯九、岩港セ云 野島、警戒救難作業 従事
---	--	--------------------------	--

6920

十一	十	九	八
----	---	---	---

紅 海 湾

二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九
二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九	二六 二二 二九

<p>野島、警戒 放難作業</p>	<p>野島、警戒 五〇七協成丸入港</p>	<p>野島、警戒 一七五、五、七、九、港</p>	<p>野島、警戒 一七五、五、七、九、港</p>	<p>野島、警戒 一七五、五、七、九、港</p>	<p>野島、警戒 一七五、五、七、九、港</p>	<p>野島、警戒 一七五、五、七、九、港</p>	<p>野島、警戒 一七五、五、七、九、港</p>	<p>野島、警戒 一七五、五、七、九、港</p>	<p>野島、警戒 一七五、五、七、九、港</p>	<p>野島、警戒 一七五、五、七、九、港</p>	<p>野島、警戒 一七五、五、七、九、港</p>
-----------------------	---------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

0440

十五	十四	十三	十二
----	----	----	----

海 紅

二四 一七九 東五 晴	三〇 一三〇 北東四 晴	二六 一四三 業八 半晴	二二 一四一 業六 半晴
一六 一九〇 南三 晴	九 二〇五 南東二 晴	一一 一七一 業四 晴	一七 一八一 業二 晴

<p>一〇三〇 岸上九掛付 生糧品 揚載入 一三三三 野島排水 作業開始 野島 警戒</p>	<p>野島 警戒 放難 作業</p>	<p>一三三三 船塙ヨリ炭庫 へ石炭移動(三三三噸) 野島 警戒</p>	<p>一〇三〇 協成孔 積付着 水補給完了 一五二五 協成丸 炭 二二〇〇 野島 危険 即時待機トナス 野島 警戒</p>

1660

十八	十七	十六
海 陸		
晴 業八 一四三 三七	晴 業七 一五三 三五	晴 業三 一五六 一七
晴 業七 一八一 一六	晴 業五 一六八 一六	晴 業七 一五七 一七

一、東部高層隊
二、海軍高層隊
三、附屬
四、第...隊

<p>〇三五野島排水作業 開始 〇五三協成丸入港 〇七五野島排水中止 一四〇野島ヨリ協成丸 三石炭積載作業員ヲ 送ル一八三五作業員 取遣 八三五野島設機期ヲ 切斷ス特野島警備 戒ヲ嚴ス</p>	<p>〇七〇江祥丸入港 〇九〇ヨリ野島於テ 南條打合ヲ行フ 一七〇江祥丸任務 引継ヲ完了ス 野島警備</p>	<p>南支那隊司令官丸九旗 南支那隊兵部中 原門方面部隊ヨリ 正軍丸ヲ除ク</p>
<p>〇九〇ヨリ救難用資 料ヲ野島ニ搭載始メ 一〇四五協成丸積付 石炭搭載(元ノ積) 一八〇作業終了</p>		

2220

二十一	二十	十九
廈門着 〇六五〇	E116°-55' N23°-8'25"	紅海灣 〇三〇〇
西五 一六九 二六〇	半晴 東六 一五九 二四	晴 東五 一四五 二八
東二 一五九 二〇	半晴 東六 一六七 一四	晴 東四 一五五 一一

<p>〇八〇〇向差到来又 〇九〇五作業終了入港 〇九五野島日東安 御駕真中助諭 法祥丸奉安入 野島機密圖書 録重要書類ヲ野島 船江科丸箱載入 一三〇〇厦門向午出港 揚動哨戒</p>	<p>揚動哨戒</p>	<p>揚動哨戒 〇六三〇厦門入港 整備作業</p>

8220

二十六	二十五	二十四	二十三	二十二
E121°-17'40" N27°-39'	E119°-55" N25°-30'20"	廈門港 三三五	廈門	廈門
一五三 一七 業東五 晴	二四 一四二 業東九 曇	一九 一五五 一五一 曇	二三 一三一 一三一 曇	二七 一四九 一三三 晴
一四 一三一 業八 半晴	一〇 一五〇 業一〇 曇	一一 一四四 業六 曇	一三 一五一 一四 半晴	一九 一六六 業九 晴

移動哨戒	移動哨戒 一二〇大井ノ卒元 輸送船団下會	移動哨戒 上海・向フ	一二五廈門港 上海・向フ	〇九〇廈門島 我跡見學子 一五〇安土九ヨリ 生糧品搭載	石炭清水 搭載

三十一	三十	二十九	二十八	二十七
海		上	海上 北東 北西 南東 南西	E/22°-31° N-29°-43°
北東 北西 南東 南西	北東 北西 南東 南西	北東 北西 南東 南西	北東 北西 南東 南西	晴 晴
北東 北西 南東 南西	北東 北西 南東 南西	北東 北西 南東 南西	北東 北西 南東 南西	晴 晴

入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠
入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠
入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠
入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠	入渠 入渠 入渠 入渠

一 遺言

戦艦戦準備

船体

昭和十一年一月一日

第十三砲艦隊

(一) 船体及附属物、損傷亡失

(二) 改造修理新設

(三) 保存手入

(四) 艦内消或配備、餘暇艦内威容ヲ保持スルト共ニ極力整備作業ニ務ム

(五) 附属物、積込積卸

(六) 参考

1) 臨戦準備

臨戦準備要員施、概況

<p>一、役務方及役務要員 支那方面艦隊南支部隊要門根據地隊 要員 士官一 特務士官一 准士官二 下士官一六 兵五四 現員中 水兵四名 被團兵四名 要員外 最近迄 派派年月日 昭和十五年十一月四日</p>	<p>主要作業及工事</p> <p>作業工事名 (訓令通達等)</p> <p>着手年月日</p> <p>終了年月日</p> <p>場所</p>
<p>二、乘員、練度 當隊教育計畫ニ依リ、外戰團即應ヲ主眼トシ 演練スルニ軍紀嚴正士氣旺盛ニシテ必勝ノ 信念厚ク各種才能即ニ出末得ル域ニ達 セリ</p>	
<p>三、船体、概況 船体概況ニ先括アル目下運航ニハ支障アリ 不慮ノ災害、發生スル可能ニ充分ニテ塔載 被命艦艇製セルモ老齡ニテ腐蝕甚クシク修 繕不能付使用、塔天作戦行動ニ支障アルハ勿論ナリ</p>	

兵器

昭和十七年六月一日
昭和十七年七月二日

砲艦正生丸

- (一) 橋要
- (二) 臨戦準備 ナシ
- (三) 主要兵器故障欠損 ナシ
- (四) 改造修理新設 ナシ
- (五) 主たる消耗兵器
別紙通り
- (五) 兵器係存整備 ナシ

8440

主ナル消耗兵器

一砲術科

全	留式七耗機銃普通彈藥包	種類	数量
	中跟彈藥包		量
			一
			三
			六

四正生丸

臨戰準備

<p>臨戰準備 安良 施 概 況</p>	<p>主要作業及工事</p>			
<p>一 役務 及 役務定員</p>	<p>作業工事名 (命令制令編藤番号)</p>	<p>着手年月日</p>	<p>終了年月日</p>	<p>場所</p>
<p>支那方面艦隊上海方面相濠地隊</p>				
<p>定員</p>				
<p>特務士官 一 下士官 五 兵 一五</p>				
<p>現員</p>				
<p>進士官 一 下士官 六 兵 一八</p>				
<p>二 乘員 練度</p>				
<p>當隊教育計画ニ依リ、外配置教育ニ重點 置キ、常時彈銃汽機、實地ノ以テ演 練スルニ各部共受持所掌ノ業務ニ通曉 各進事態ニ即應出來得ル域ニ達セリ</p>				

二機関概況

全カ發揮差支ナシ

小主機機 完備

但各部中心裏倚り高圧滑弁棒上同偏心配、中心裏倚特甚し、尚高圧偏心外輪、白色合金摩耗甚し、差當り使用上差支ナキモ時機、待次第調整鑄換修理ヲ要ス

四) 確 完備

但二三號罐共相當表朽と熔接内盛を箇所多ク特二三號罐ハ數箇所ニ亘リ何トモ深クニ耗カ至三耗程度、清蝕アリ時機、得テ完全ナル修理ヲ要ス尚昭和十五年八月定期水圧試験の結果二三號罐使用圧力一二五磅、一〇〇磅ニ變更(減)使用中

六) 電機機 完備

七) 補助機機 完備

但主補蒸気管、永年使用、結果素朽甚し

1820

開闢 政權 政損

<p>ナニ</p>	<p>情 況 又 原 因</p>
<p>3A</p>	<p>處 置</p>

0782

改定修理新設

	工事内容(訓令通牒命令番号) ナシ
	着手年月日
	竣工年月日 <small>(竣工)</small>
	工事施行ニ至ル経緯

三
代
官
制

總行程(哩)	運輸時數 (時分)	海陸運輸時數		運輸 距離 (英里)	投 送 月 日	發 着 地 名	運 送 地 名	注 意 事 項
		陸	海					
40	0-28			20	1-1	法屋		官
40	0-04				1-1	公		
					1-1	公		
					1-1	公		續
205.5	45-25				1-1	公		夜四
505.0	58-27				1-27	公		四
530	5-21				1-21	公		公
779.5	135-46							洋
2057.0	512-57							

0784

最近出渠年月日	平均吃水 米	補給水量 量	行動用米屑(綿布含) 十	行動用油			行動用炭				
				外部		内部	一號		二號		
				油	白成油	一號	二號	一號	二號	一號	二號
昭和十五年十一月四日	1.54	17.0	1	24	0	24	20	15.0	0	25	0
	2.54	26.0	2	38	0	38	27	29.0	0	25	0
	3.67	28.0	5	55	0	55	47	46.0	0	0	0
	5.37	15.0	5	153	0	153	140	100	0	225	0
	5.67	22.0	8	307	0	307	300	16.0	0	620	0
	5.45	25.0	1	51	0	51	52	5.5	0	4.0	0
		1610	20	638	0	638	620	1475	0	675	0
		2710		1610	0	1630	1640	1465	135	815	715

0840

注) 主機械・補助機・使用時数

使用時数 時一分	機関待機 時数(時分)		總行程(哩)	運轉時数(時一分)	期間	機関式及数
	航海中	碇泊中				
・	0	129-28	7725	133-66	昭和十七年 一月一日 昭和十七年 一月二十日	並立三段 膨張ピストン機 一基
・	0	1088-17	2057.0	318-57		計

内火艇計

機関艇
種類及数

内火艇(西村號) 一

内造水米並ニ眞水搭載

眞水 搭載 額 (港)				眞水 搭載 額 (港)				月 日	眞水 搭載 額 (港)			
計	雑 用	飲 用	罐 用	計	雑 用	飲 用	罐 用		合 計	雑 用	飲 用	罐 用
22.0	0	0	22.0	0	0	0	0	1-2	122.0	8.0	28.0	86.0
15.0	15.0	0	0					1-5				
15.0	0	15.0	0					1-7				
70.0	0	70	65.0					1-12				
108.0	22.0	24.0	120					1-23				
230.0	37.0	46.0	147.0									

8840

燃料潤滑油消耗品搭載

系属(船名)等	潤滑油 (注)		燃料					搭載場所	月日
	白紋油	一號内部用油 (注)	一號外部用油 (注)	三號石油	二號石油	一號普通	二號塊炭		
〇	〇	(注) 560	(注) 2,000	〇	〇	〇	〇	〇	厦門 1-7
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	(注) 700	〇	汕尾 1-10
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	(注) 400 (注) 100	〇	厦門 1-22
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	1,000	〇	

0289

燃料潤滑油消耗品費額

平常用燃料					行動用燃料(電)				主要燃料庫量	期 間
三號石油	二號石油	一號普通揮發油	二號塊炭	一號塊炭	合計	汽機用	点火	運車用		
						二號塊炭	一號塊炭	二號塊炭	一號塊炭	
0	0	14	50	70	170	109.5	0	17.5	0	昭和十七年一月一日
										昭和十七年一月三十一日
0	0	17.5	50	140	133.0	126.5	13.5	81.5	21.5	計

0620

系属 (種別)			内部 潤滑油			外部 潤滑油					
合計	平常 用	行動 用	合計	平常用	行動用	合計	平常			行動用	
				一 號 内 部 油	一 號 内 部 油		日 絞 油	三 號 外 部 油	一 號 外 部 油	三 號 外 部 油	一 號 外 部 油
25 (15)	5 (15)	20 (10)	71.0	12.0	12.0	278	56	0	54	0	638
35 (25)	20 (10)	55 (11)	14.5	29.0	14.5	1528	54	0	146	0	1130

機関待機

1640		機関待機				期		主機機式及数	
二時間待機(重) 機以下		破泊中 (時一分)				航海中 (時一分) 二十四節以上 又八金力		直三式機関底ノスト機一基	
二時間待機(重)	一時間待機(重)	三十分待機(重)	十五分待機(重) (又二十分)	即時待機(重)	三十分間待機(重)	十五分間待機(重)	即時待機(重)	昭和十七年一月一日	計
306-20	0	0	0	223-08	0	0	0	昭和十七年一月三十一日	
375-1P	0	0	0	689-08	0	0	0		

0792

一
も
一

工作通牒第百三十三號艦隊

一、摘要

(一) 臨戰準備

完了

(二) 修理改造

新設

ナシ

(三) 在機整備使用

整備良シ

(四) 重要機械故障損

ナシ

(五) 艦内工作

(金) 有毒器

二、

0794

(木)

御眞影奉安所

暗号皇書類冊製作

砲台敷板修理

要具箱製作

一、一、一、二、

具木	属金	別種 別科
$\frac{0}{0}$	$\frac{0}{0}$	航海
$\frac{1}{0}$	$\frac{0}{0}$	術砲
$\frac{0}{0}$	$\frac{0}{0}$	雷水
$\frac{0}{0}$	$\frac{0}{0}$	信通
$\frac{2}{2}$	$\frac{0}{0}$	用運
$\frac{0}{0}$	$\frac{0}{0}$	行飛
$\frac{0}{0}$	$\frac{0}{0}$	備整
$\frac{0}{0}$	$\frac{0}{0}$	減撥
$\frac{1}{1}$	$\frac{0}{0}$	作工
$\frac{0}{0}$	$\frac{1}{1}$	務醫
$\frac{0}{0}$	$\frac{0}{0}$	計主
$\frac{4}{3}$	$\frac{1}{1}$	計

(一) 艦内工作件数(竣工数、要求数)
 (三) 正生丸

		(イ)	(ロ)		
		艦内工作機械使用台数(時分)	数工	別鋼	別種
/	大 盤 鋸				金
	小 〃		0	冶鍛	
	大 盤ルーボ		0	機械	
	小 盤ルーボ		0	上仕	
	盤 削 型		15	金板	
	大 盤 スイラフ		0	接 溶	
	小 〃		0	造 鑄	
	機切神員打		0.8	アース 教工機	
	3-0 盤磨研表自		2	員人延	
	15-0 ゴイフ		0	水潜	
	炉 解 熔		0	年船	
	機接熔スガ		8	具 木	
	機接熔機電		0.7	アース 教工機	
	炉 鋳 銅		11	員人延	
	盤 旋 具 木				
盤 鋸 具 木					
盤 鉋 具 木					
器 水 潜					

(二)

艦内工作材料費額
— 金屬材料

修繕材料	要品材料	呼称	名品	種別	修理材料	要品材料	呼称	名品	種別
0	0	個	兩棒銅	銅	0	0	個	甲鋼通	銅
0	0	個	丁 "		0	0	個	乙 "	
1	0	枚	甲板銅		0	0	個	丙 "	
0	0	枚	乙 "		0	0	個	丁 "	
0	0	枚	丙 "		0	0	個	甲鋼棒	
0	0.5	枚	丁 "		0	0	個	乙 "	
0	0	個	甲棒銅	銅	0	0	個	丙 "	銅
0	0	個	乙 "		0	0	個	丁 "	
0	0	個	丙 "		0	0	個	甲鋼手	
0	0	個	丁 "		0	0	個	乙 "	
0	0	枚	甲板銅		0	0	個	丙 "	
0	0	枚	乙 "		0	0	個	甲鋼形山	
0	0	枚	丙 "		0	0	個	乙 "	
1	0	枚	丁 "		0	0	枚	甲鋼	
0	0	個	帽銅		0	0.5	枚	乙 "	
0	0	個	乙 "		0	0	枚	甲鋼板	
0	0	個	丙 "		0	0	枚	乙 "	
0	0	個	丁 "		0	0	枚	丙 "	
0	0	瓦	鐵鉢	鉢	0	0	匹	金鋼	眞
0	0	匹	鐵編		0	0	個	甲棒銅	
0	0	匹	鐵白		0	0	個	乙 "	

8620

種類	呼称	名品	種別	呼称	名品	種別
				0	0 能	糊白
				0	1 能	砂
				0	0 枚	板
				0	0 枚	板
				0	0.5 能	板
				0	0 能	錫
				0	0 能	金
						白色

二 非金屬材料

材料種別	数量	呼称	名品	種別	材料種別	数量	呼称	名品	種別
〇	0	枚	己板檜	板	〇	0	個	甲角板江	角
〇	1	枚	庚 "		〇	0	個	乙 "	
〇	1	枚	辛 "		〇	0	個	丙 "	
〇	0	枚	甲板板江		〇	0	個	丁 "	
〇	0	枚	乙 "		〇	1	個	甲角形	板
〇	0	枚	丙 "		〇	1	個	乙 "	
〇	0	枚	丁 "		〇	2	個	丙 "	
〇	0	枚	戊 "		〇	0	個	丁 "	
〇	0	枚	己 "		〇	0	個	乙太丸形	丸板
〇	0	枚	庚 "		〇	0	個	丙 "	
〇	0	枚	辛 "	〇	0	枚	甲板合	板	
〇	0	枚	壬 "	〇	0	枚	乙 "		
〇	0	枚	癸 "	〇	0	枚	甲板檜		
〇	0	枚	甲板形	〇	0	枚	乙 "		
〇	0	枚	乙 "	〇	0	枚	板櫻		
〇	0	枚	丙 "	〇	0	枚	板升		
〇	0	枚	丁 "	〇	0	枚	甲板檜		
〇	0	枚	戊 "	〇	0	枚	乙 "		板
〇	0	枚	己 "	〇	0	枚	丙 "		
〇	0	枚	庚 "	〇	0	枚	丁 "		
〇	5	枚	辛 "	〇	0	枚	戊 "		

0080

科 理	科 品	呼 称	名 品	種 別	科 理	科 品	呼 称	名 品	種 別
○	0	枚	乙板檜		○	3	枚	壬板杉	
○	0	枚	甲板硝	硝 子 類	○	0	枚	甲板檜	材
○	0.5	枚	乙 "		○	0	枚	乙 "	
○	0	枚	丙 "		○	0	枚	丙 "	
○	0	匝	甲釘輪	釘 類	○	0	枚	丁 "	
○	0	匝	乙 "		○	0	枚	甲板檜	
○	0	匝	甲釘鐵		○	0	枚	乙 "	
○	0	匝	乙 "		○	0	枚	丙 "	
○	0	匝	釘銅	類	○	0	枚	丁 "	
○	1.5	匝	釘鐵		○	0	枚	戊 "	
○	0	個	金運	其 他	○	0	枚	己 "	
○	0	匝	ス=フ		○	0	枚	庚 "	
○	0	匝	フツフ		○	0	枚	辛 "	
○	0	匝	テパ		○	0	枚	壬 "	
○	0	立	北=ル精木		○	0	枚	癸 "	
○	0	枚	甲板硝		○	0	枚	甲板硝	料
	0				○	0	枚	乙 "	
					○	0	枚	丙 "	
					○	0	枚	丁 "	
					○	0	枚	戊 "	
					○	0	枚	甲板檜	
					○	0	枚	甲板檜	